

平成22年度事務事業評価表(平成21年度振り返り)

政策名 豊かな出会いでにぎわうまち

施策番号・名 19 地域課題の解決に結びつく生涯学習の推進

基本事業番号・名 19-01 個人学習活動の推進

事務事業番号	所管課係名	事務事業の目的 (事務事業の対象、手段、意図)	対象指標 (対象の数値指標化)		活動指標 (手段の数値指標化)		成果指標 (意図したことの結果の数値指標化)		事業費 (実績額) ① (千円)	人件費 (理論値) ② (千円)	トータル コスト ①+② (千円)	改革・改善の余地 (目的妥当性・効率性・有効性・公平性から)		改革・改善の余地を踏まえた 平成23年度以降に向けた事務事業の方向性 (所管課長記入欄)				
	事務事業名		指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)				選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)			
19-01-01	生涯学習課 生涯学習係	対象	市民	平成21年度	109,343 (人)	平成21年度	208 (人)	平成21年度	0.19 (%)	145	1,009	1,154	選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)		
	野草園事業	手段	自然保護及びふるさと意識の高揚を図るため、四季を通じて野草を植栽、野草の保護を行っている。育成保護には市民約25名がボランティアで参加し、毎月第1・第3日曜日の午前中に作業実施している	平成20年度	108,743 (人)	平成20年度	282 (人)	平成20年度	0.26 (%)	515	890	1,405	22年度以降に向けた方向性	アウトソーシング	改善の余地	■あり □なし	23年度以降に向けた方向性	現状維持
		意図	野草を通して、市民が誰でも自然観察と生殖する植物保護にかかわり、緑とふれあうまちづくりに参画する	平成19年度	108,741 (人)	平成19年度	400 (人)	平成19年度	0.37 (%)	63	986	1,049	毎月第1・第3日曜日の午前中の作業を職員もしていたが、20年度よりボランティアの方々だけで作業、職員は必要に応じ協力していくこととし、時間外人件費の抑制をする。22年度からは地域の文化団体への委託を行う。	野草園の自主的な管理運営はボランティアに任せ、必要に応じて職員が支援する体制に変更を図る。22年度から地域の文化団体へ委託を行った。				
		対象	小学生以上の市民数	参加者数	参加率									所管課長名:	生涯学習課 田中 潤			
19-01-02	生涯学習課 生涯学習係	対象	市民	平成21年度	109,343 (人)	平成21年度	151 (人)	平成21年度	0.14 (%)	43	505	548	選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)		
	自然観察会事業	手段	市の野草を観察するため春・秋2回開催	平成20年度	108,743 (人)	平成20年度	156 (人)	平成20年度	0.14 (%)	68	396	464	22年度以降に向けた方向性	アウトソーシング	改善の余地	■あり □なし	23年度以降に向けた方向性	現状維持
		意図	自然にふれながら、野草についての知識を学ぶ	平成19年度	108,741 (人)	平成19年度	120 (人)	平成19年度	0.11 (%)	40	493	533	市民が参加する観察会の運営も、野草園を管理運営するボランティアにできるだけ委ねる工夫が必要である。22年度からは地域の文化団体への委託を行う。	観察会の運営は、野草園を管理運営するボランティアにできる限り任せ、必要に応じて職員が支援する体制に変更を図る。22年度から地域の文化団体へ委託を行った。				
		対象	小学生以上の市民数	参加人数	参加率									所管課長名:	生涯学習課 田中 潤			
19-01-03	生涯学習課 生涯学習係	対象	主に市内小中高生(事業により保護者も含む)	平成21年度	12,781 (人)	平成21年度	2,095 (人)	平成21年度	16.40 (%)	2,500	252	2,752	選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)		
	子ども体験塾委託事業	手段	NPO法人東久留米市文化協会に文化、芸術、自然体験学習を委託(18年度より)	平成20年度	13,964 (人)	平成20年度	1,998 (人)	平成20年度	14.30 (%)	2,500	247	2,747	22年度以降に向けた方向性	現状維持	改善の余地	■あり □なし	23年度以降に向けた方向性	廃止(完了・統合含む)
		意図	日頃体験することが少ない文化・芸術、自然体験を身近で学習する	平成19年度	12,877 (人)	平成19年度	2,636 (人)	平成19年度	20.05 (%)	2,500	296	2,796	小中学生が文化・芸術、自然に関する体験学習を行う機会を設けるとともに、ニーズを踏まえた内容に見直す。従来型の事業について、都市長会の補助が停止されたため、本市の事業を見直すこととする。	同左				
		対象	6~18歳未満児童数	参加者数	参加率									所管課長名:	生涯学習課 田中 潤			
19-01-04	生涯学習課 生涯学習係	対象	市民等	平成21年度	96,562 (人)	平成21年度	804 (人)	平成21年度	0.83 (%)	310	4,514	4,824	選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)		
	市民大学事業	手段	地域の生活課題をテーマに取り上げた講座を開催。防災まちづくり学校もあわせて開催。	平成20年度	95,864 (人)	平成20年度	867 (人)	平成20年度	0.95 (%)	286	4,202	4,488	22年度以降に向けた方向性	現状維持	改善の余地	■あり □なし	23年度以降に向けた方向性	現状維持
		意図	学び方を学び、学ぶ喜びを体験し、学びの成果を地域に還元できる学習の場の提供をする	平成19年度	95,864 (人)	平成19年度	915 (人)	平成19年度	0.95 (%)	306	4,437	4,743	運営委員が中心となって講座を開催している。職員の支援は、22年度からは地域の文化団体への委託を行う。	運営委員が中心となって手作りの運営に工夫をしている。地域課題の解決に有効な内容への絞りこみを図る必要がある。平成21年度の事務事業評価作業段階では「22年度に向けた方向性」を現状維持としていたが、22年度から地域の文化団体へ委託を行った。				
		対象	18歳以上の市民等	受講者数	受講率									所管課長名:	生涯学習課 田中 潤			
19-01-05	生涯学習課 生涯学習係	対象	市民等	平成21年度	96,562 (人)	平成21年度	236 (人)	平成21年度	0.24 (%)	171	1,009	1,180	選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)		
	市民大学短期コース事業	手段	自立した市民による市民のための講座として、市民講師による様々な分野の学習を行う講座を開催	平成20年度	95,853 (人)	平成20年度	178 (人)	平成20年度	0.39 (%)	150	890	1,040	22年度以降に向けた方向性	アウトソーシング	改善の余地	■あり □なし	23年度以降に向けた方向性	現状維持
		意図	市民による講師から様々な分野のものを学習する	平成19年度	95,864 (人)	平成19年度	231 (人)	平成19年度	0.24 (%)	90	986	1,076	市民同士の学びあいの場として、どのようなテーマを設定すべきかニーズや目標を踏まえ絞込みが必要となっている。22年度からは地域の文化団体への委託を行う。	市民講師による趣味及び教養的な学習内容が多く、地域課題解決との結びつきは大きくない。22年度から地域の文化団体へ委託を行った。				
		対象	18歳以上の市民等	受講者数	受講率									所管課長名:	生涯学習課 田中 潤			

平成22年度事務事業評価表(平成21年度振り返り)

政策名 豊かな出会いでにぎわうまち

施策番号・名 19 地域課題の解決に結びつく生涯学習の推進

基本事業番号・名 19-01 個人学習活動の推進

事務事業 番号	所管課係名	事務事業の目的 (事務事業の対象、手段、意図)	対象指標 (対象の数値指標化)		活動指標 (手段の数値指標化)		成果指標 (意図したことの結果の 数値指標化)		事業費 (実績額) ① (千円)	人件費 (理論値) ② (千円)	トータル コスト ①+② (千円)	改革・改善の余地 (目的妥当性・効率性・有効性・公平性から)		改革・改善の余地を踏まえた 平成23年度以降に向けた事務事業の方向性 (所管課長記入欄)				
	事務事業名		指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)	指標	実績値 (単位)				選択項目	説明(選択理由)	選択項目	説明(選択理由)			
19-01-06	図書館 業務係	日本図書館協会 ・負担金の支出・協会が実施する研修 会・研究会への参加 ・「図書館雑誌」等図書館運営及び図書 サービスを提供していくうえで指針とな る資料の配布を受ける。 全国の図書館等の連絡提携のもとに、図 書館事業の進捗発展及び図書館職員の能 力・知識の向上を図る。	対象	日本図書館協会	平成21年度	日本図書館協会 施設会員配布資料	平成21年度	配布資料活用割合	平成21年度	平成21年度	平成21年度	平成21年度	選択項目	説明(選択理由)		選択項目	説明(選択理由)	
	日本図書館協会参画事 業		手段	1 (団体)	35 (点)		平成20年度		平成20年度	平成20年度	平成20年度	22年度以降に向けた方向性	現状維持	所管課長名:	図書館 高梨顕彦			
			意図	1 (団体)	38 (点)		平成19年度		平成19年度	平成19年度	平成19年度	改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	23年度以降に向けた方向性	現状維持	会員になることにより、資料・情報の提供、 研修研究会への参加、資料室の利用など会員 としての特典が受けられる。	会員になることで資料・情報の提供を受けるこ とができる。全国の公共図書館と連携を取りな がら図書館サービスの充実・向上を目指す。	
				1 (団体)	34 (点)		平成19年度		平成19年度	平成19年度	平成19年度	100 (%)	50	99	149			
19-01-07	図書館 図書サービス係	録音図書の作成および購入により、組閣 障害者むけ資料を整備する。市内の視覚 障害者に貸出を行う。図書館間の資料の 相互貸借を行う。また、図書館サービスの PRを行う。 視覚障害者の読書および学習を保障する ため、図書や雑誌の音訳を行い、録音図 書や声の雑誌を作成し、提供する。	対象	図書館利用に障害のある市民	平成21年度	視覚障害のある市 民数	平成21年度	録音図書の受入点 数	平成21年度	平成21年度	平成21年度	平成21年度	選択項目	説明(選択理由)		選択項目	説明(選択理由)	
	音訳テープ等作製事業		不明 (人)	34 (タイトル)	平成20年度		平成20年度		平成20年度	平成20年度	22年度以降に向けた方向性	拡大	所管課長名:	図書館 高梨顕彦				
			274 (人)	29 (タイトル)	平成19年度		平成19年度		平成19年度	平成19年度	改善の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	23年度以降に向けた方向性	拡大	録音図書の作成は、媒体をカセットテープか らデジタル化をすすめるのが、日本点字図書 館をはじめ多くの図書館の趨勢となってい る。今後、デジターへの切替をはかる必要が ある。機器の導入によりデジタル化の準備を すすめる。	高齢化により、録音図書の必要性は高まってい る。著作権処理も改善され、視覚障害者以外の 利用も可能となった。今後も図書館の障害者 サービスは、今後も直営がのぞましい。デイ ジー化にむけ、年次計画を作成し、担当者を育 成する。		
			298 (人)	24 (タイトル)	平成19年度		平成19年度		平成19年度	平成19年度	884 (点)	2,968	6,459	9,427				
862 (点)	1,613	4,450	6,063	690 (点)	1,659	4,437	6,096											